

緑 中 通 信

～自分が楽しく、みんなも楽しく～

発行責任者：郡山市立緑ヶ丘中学校長 柳沼久裕

卒業証書授与式の重みはいささかも変わらない

卒業式ではこんな話をしました

新型コロナウイルス感性拡大防止に向けての国からの要請により、本校伝統の、歌と歌で心をつなぐ卒業証書授与式を行うことができなかったこと、本当に残念に思います。しかし、一方で、このようなささやかな形で、卒業証書授与式を挙行できたことに安堵しております。卒業生の皆さん、保護者の皆様は、いかがでしょうか。

あらためて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は今、卒業する百十五名の皆さん一人ひとりに、直に卒業証書を授与することができたことに、ほっと胸をなでおろし、喜びがこみあげてきております。

本日をもって、緑ヶ丘中学校の伝統の継承・発展に確かな足跡を残し、本校を巣立ちゆく卒業生のみなさんに、心からお祝いと感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとう。

この旅立ちの日に、ぜひとも私から贈りたいのは、「**自分を大切に、つながりを大事に**」という言葉です。まずなんといっても、かけがえのないみなさんの命、そして人生を大切にしてください。これが何よりも伝えたいことです。そして、生きていく中でのさまざまなつながりを意識し、大事にしてほしいのです。あなた方は、好むと好まざるとに関わらず、さまざまな「つながり」の中で生かされていることを自覚してほしいのです。「家族とのつながり」「友とのつながり」「社会とのつながり」など、それぞれのつながりの中で、「何ができるか」「どう判断すべきか」をしっかりと考え、行動できる人になってほしいと思います。つながりを大事に行動することが、結果として自分を大切にすることになることを実感する日が必ず訪れるはずです。「自分を大切に、つながりを大事に」、みなさんの心に刻まれるよう切に望みます。

さて、保護者の皆様方には、お子様のご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。また、三年間にわたりまして、本校の教育活動に、温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

以上、卒業生の皆さんが、将来再会したときに、本日の卒業式を、「**特別な卒業式だったね**」と笑顔で振り返ることができるよう心から願うとともに、卒業生の皆さんの輝かしい前途を祝し、式辞といたします。

祝 卒業
緑ヶ丘中学校の卒業生のみなさんに、校長先生より、大好きな谷川俊太郎の詩を贈ります。

じゃあね

谷川俊太郎

思い出しておくれ
あの日のこと
楽しかったあの日のこと
けれどそれももう過ぎ去って
じゃあね

ひとりぼっちほこわいけど
きみにはきみの明日がある
どこか見知らぬ宇宙のかなたで
また会うこともあるかもしれない
じゃあね
もうふり返らなくていいんだよ
さよならよりもさりげなく
じゃあね じゃあね

忘れちゃっておくれ
あの日のこと
くやしかったあの日のこと
けれどそれももう過ぎ去って
じゃあね

年をとるのはこわいけど
ほくにはほくの日々がある
いつか夜明けの夢のはざままで
また会うこともあるかもしれない
じゃあね
もうふり返らなくていいんだよ
さよならよりもきっぱりと
じゃあね じゃあね